

# 1 チョウジ末

## 2 確認試験の項を次のように改める。

3 確認試験 本品1.5 gに酢酸エチル20 mLを加えて5分間振り混  
4 ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマト  
5 グラフィー用オイゲノール5 mgをメタノール1 mLに溶かし、  
6 標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー  
7 (2.03) により試験を行う。試料溶液及び標準溶液1  $\mu$ Lず  
8 つを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した  
9 薄層板にスポットする。次にヘキサン/アセトン混液(2:1)  
10 を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を風乾する。  
11 これに噴霧用バニリン・硫酸・エタノール試液を均等に噴霧  
12 し、105°Cで5分間加熱するとき、試料溶液から得た数個の  
13 スポットのうち1個のスポットは、標準溶液から得たスポッ  
14 トと色調及び $R_f$ 値が等しい。

15 -----

## 16 9. 41 試薬・試液の項に次を追加する。

17 オイゲノール、薄層クロマトグラフィー用  $C_{10}H_{12}O_2$  無色  
18 ~黄色の澄明な液体で、特異なにおいがある。メタノール又  
19 はエタノール(99.5)に混和し、水に溶けにくい。

20 確認試験 本品のメタノール溶液(1 $\rightarrow$ 100000)につき、紫外  
21 可視吸光度測定法 (2.24) により吸収スペクトルを測定する  
22 とき、波長227 ~ 231 nm及び280 ~ 284 nmに吸収の極大  
23 を示す。

24 純度試験 類縁物質 本品5 mgをメタノール1 mLに溶かし  
25 た液につき、「チョウジ」の確認試験を準用し、試験を行う  
26 とき、 $R_f$ 値約0.4の主スポット以外のスポットを認めない。

27

28